

推し活は江戸時代にもあった！？

本の万華鏡「推し活狂想曲」公開

どなたでもご覧になれる、国立国会図書館のオンライン展示です。

国立国会図書館は令和6年1月23日に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第34回「推し活狂想曲」を公開しました。

自分の好きなアイドル・俳優・アニメキャラなどを応援する活動、通称「推し活」。新しい社会現象に思えますが、実は昔から「推し活」があったのをご存じでしょうか？ 今回の「本の万華鏡」では、江戸時代や明治時代に人々が夢中になっていた茶屋娘、歌舞伎役者、女義太夫に焦点を当て、当時の「推し活」の様子を紹介します。



URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/entry/34/>

スマートフォンからもご覧になれます。



本の万華鏡

「化粧」「鉄道」「はやり病」「和菓子」「温泉」など、34のテーマで、国立国会図書館の蔵書を紹介しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/>

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)

■ご覧になれる資料の一部（サイト上でより詳細な画像をご覧になれます。）

茶屋娘を取り上げた後世の作家、永井荷風

永井荷風の「恋衣花笠森」は、江戸時代に人気のあった茶屋娘笠森お仙をモデルにした短編小説です。お仙と幼馴染である恋人源之進の話で、事実として伝わる御家人との結婚とは異なる物語が展開されています。荷風は、大正8年に建てられた笠森お仙碑の碑文も書いています。

出典：永井荷風「恋衣花笠森」『散柳窓夕栄』， 靱山書院， 大正3【特 102-384】



歌舞伎役者の舞台裏「オフショット」



『さかい町中村座楽屋之図』には賑やかな楽屋の様子が描かれています。舞台裏の役者たちを描いたこうした錦絵は、今でいう「オフショット」に当たり、ファンは普段見ることのできない役者たちの一面を楽しんだものと考えられます。左掲は3枚続である本資料の一部（1枚分）で、女形の支度風景が描かれています。サイト上では3枚続の全体をご覧になれます。



出典：琴雷舎国貞『さかい町中村座楽屋之図』， 西村永寿堂， 文化10【寄別 1-4-6】

女義太夫ブームの中で人気を誇った竹本綾之助

『女義太夫芸評』からは、明治時代の女義太夫ブームや、とりわけ評価の高かった竹本綾之助の人気ぶりが分かります。綾之助の肖像（右掲）が掲載されるとともに、彼女の声の素晴らしさと、涙を流す客が少なくなかったことなどが述べられています。

出典：旭峯居士・傘の台主人『女義太夫芸評』， 博盛堂， 明治24【特 47-546】



■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）